

2021年学校模擬選挙キャンペーン 投票結果

1. はじめに

日本若者協議会は、若者の声を政府や社会に届ける「窓口」として、若者政策の立案、各政党との政策協議、政策提言を行っている若者団体です。

2015年の18歳選挙権実現以降、徐々に主権者教育、特に模擬投票が行われるようになってきましたが、日本では本物の政党を取り扱ったり、政治家の方と直接話す機会は非常に限られているのが現状です。

そこで日本若者協議会では、欧米で行われているような、本物の公約を比較したり、国会議員と話す、実際の選挙に近い模擬投票を行いました。

2. 模擬投票の概要

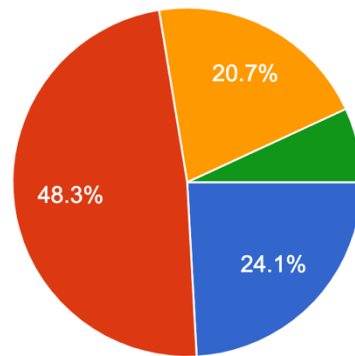
この模擬投票は、日本若者協議会主催「学校模擬選挙」の参加者を対象に行なったWebアンケートです。主な調査対象は、中学生・高校生で、投票期間は10月13日(水)～17日(日)です。

- ・調査方法 Web調査(日本若者協議会主催「学校模擬選挙」参加者を対象に回答を募集)
- ・調査対象 主に中学生・高校生
- ・調査期間 10月13日(水)～17日(日)
- ・回収数 29回答

3. 模擬投票結果

属性

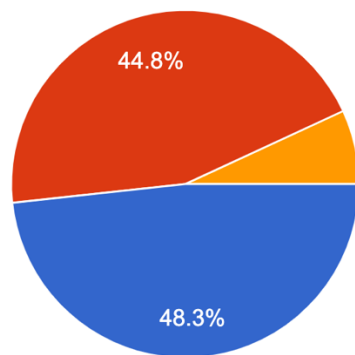
29 件の回答



- 中学生
- 高校生
- 大学生
- 小学生

性別

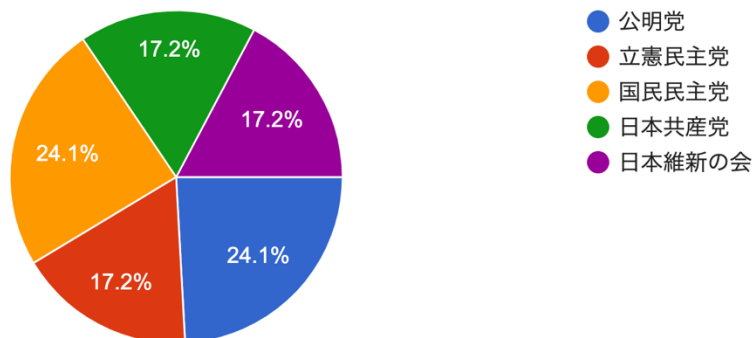
29 件の回答



- 男性
- 女性
- 回答しない

投票したい政党はどこですか？

29 件の回答



Q. その理由を教えてください(自由回答)

(公明党)

- ・話がちゃんとしていたから(男性・小学生)
- ・若者の声をよく聞いてそうだったから(女性・高校生)

(立憲民主党)

- ・校則に関する規則をしっかりと変えてくれると明言してくれたため。(男性・高校生)

(国民民主党)

- ・どの政党も未来を語ってくださって、感動しましたが、若者の選挙参画に対する具体的、効果的な政策があったところが決め手です。そして、伊藤さんの熱くわかりやすい言葉が良かったです。(女性・高校生)
- ・この人なら信頼できると思ったから(女性・大学生)

(日本共産党)

- ・子どもや、権利のことについて実現して欲しいものがあったからです。そして、もし政権を取ったら実現してくれそうだったと思ったからです。(女性・中学生)

(日本維新の会)

・リスクあることもしっかりと答えてくれて、考えてくれていると思いました。やはり人間は投票となると自分をよく見せようとしたり、自分の党をよく見せたり、政治自体に興味を持たせるのですが、リスクがあることを教えてくれたので、投票しました。(女性・高校生)